

ビーコンに関する
調査表記入マニュアル

[E350] ビーコン基本

この調査表は、ビーコンに関する基本的データを登録するためのものである。
(国土交通省及び他機関管理で取り扱うものを対象とする)

1. 一般的注意事項

- (1) データは次の単位で作成する。
 - 路線毎とする。
 - ビーコン1基毎とする。
- (2) ビーコンに関する写真・図面類については「E351ビーコン図面類」にて作成する。
- (3) ビーコンに関する補修履歴等については「E352ビーコン補修歴」にて作成する。

2. 記入事項

- (1) 工事番号
 - (2) 工事区分C
 - (3) 施設対応番号
 - (C) 地整C
 - (D) 事務所C
 - (E) 出張所C
 - (F) 路線
 - (G) 現旧区分C
 - (H) 整理番号1
 - (I) 整理番号2
 - (J) 整理番号3
 - (N) 補助番号
- 上記(1)、(2)、(3)、(C)、(D)、(E)、(F)、(G)、(H)、(I)、(J)、(N)の記入方法については、「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル(共通編)」、§1. 共通注意事項」を参照のこと。
- (P) 百米標 (km)

該当する区間の距離標(百米標)を記入する。記入方法については、「道路施設基本データ作

成入力書式マニュアル（共通編）， §1. 共通注意事項」を参照のこと。

(Q) 距離 (m)

該当する区間の距離標（百米標）からの距離を記入する。記入方法については、「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル（共通編）， §1. 共通注意事項」を参照のこと。

(V) 上り下り区分C：◆

上り・下り区分について、該当するコードを記入する。

区 分	コード
上下線共通	0
上 り 線	1
下 り 線	2

(X) 所在地：◆

該当する区間の所在地（字番地まで）について、30文字以内の日本語で記入する。

(Y) 完成年月：◆

ビーコンが完成した年月を記入する。（年は西暦年で記入）

（記入例） 1986年 3月 ——> 198603

(Z) 設置箇所C：◆

設置箇所について、該当するコードを記入する。

区 分	コード
路 肩	1
歩 道	2
中 央 帯	3
そ の 他	9

(AB) 送信種別C：◆

送信種別について、該当するコードを記入する。

区 分	コード
電波ビーコン	1
光ビーコン	2

(AD) ビーコン種類C：◆

ビーコンの種類について、該当するコードを記入する。

区 分	コード
独立型ビーコンA	1 1
オンラインビーコンB (一般加入者回線)	1 2
オンラインビーコンC (テレメータ回線)	1 3
オンラインビーコンD (専用回線)	1 4
そ の 他	9 9

(AJ) 情報提供区間長 (m) : ◆

情報が提供される区間 (サービスエリア間) の延長を記入する。

(AK) 情報提供道路幅 (m) : ◆

情報が提供される区間 (サービスエリア間) の道路幅を、小数点以下1位まで記入する。

(AT) 情報区分C : ◆

情報提供区分について、該当するコードを記入する。該当する情報提供区分が複数ある場合は、代表的なものを記入する。

区 分	コード	区 分	コード
文 字 情 報	1 1	文字情報と図形情報	1 4
図 形 情 報	1 2	文字情報と数値情報	1 5
数 値 情 報	1 3	図形情報と数値情報	1 6
		文字情報と図形情報と数値情報	1 7

(BG) AS名 : ◆

AS (ビーコンセンターから送られてくる情報を受け持ち地域のビーコンに配信する制御装置) の名称について、15文字以内の日本語で記入する。

(BH) AS設置場所 : ◆

ASの設置場所について、30文字以内の日本語で記入する。

(BR) 市区町村C : ◆

該当する区間の市区町村名のコードを記入する。使用するコードは「全国市町村要覧」を参照し、「都道府県市区町村コード」を記入する。

(記入例) 茨城県鹿島郡旭村の場合 ——> コード : 0 8 4 0 1
(検査数字は含まない)

[E352] ビーコン補修歴

この調査表は、ビーコンの補修履歴等に関するデータを登録するためのものである。

1. 一般的注意事項

データは次の単位で作成する。

- 「E350ビーコン基本」の作成単位毎とする。
- 補修が行われた毎とする。

2. 記入事項

(1) 工事番号

(2) 工事区分C

(3) 施設対応番号

(C) 地整C

(D) 事務所C

(E) 出張所C

(F) 路線

(G) 現旧区分C

(G-1) 現旧区分

(H) 整理番号1

(I) 整理番号2

上記(1)、(2)、(3)、(C)、(D)、(E)、(F)、(G)、(G-1)、(H)、(I)の記入方法については、「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル(共通編)」、§1. 共通注意事項」を参照のこと。

(P) 補修年月

補修を行った年月を記入する。(年は西暦年で記入)

(記入例) 1985年10月 ——> 198510

(Q) 補修内容C

補修内容について、該当するコードを記入する。

区 分	コード	区 分	コード
空中線の除去・取替え	1 0 1	通信系の修復	5 0 1
給電線の取替え	1 0 2	取替え	5 0 2
送信機の修復	2 0 1	装置本体の修復	6 0 1
取替え	2 0 2	取替え	6 0 2
ケーブル等の修復	3 0 1	そ の 他	9 9 9
取替え	3 0 2		
電気系統の修復	4 0 1		
取替え	4 0 2		

道路施設基本データ作成対象項目一覧表

1/1

E350：ビーコン（基本諸元）

項目名	入力書式		CSV作成対象	
	データ表現	単位	全国版 SYOGEN	中国版 SYOGEN_0
工事番号	半角16文字			○
工事区分C	半角1文字			○
施設対応番号	半角16文字			○
地整C	半角2文字			○
事務所C	半角2文字			○
出張所C	半角2文字			○
路線	9999		○	○
現旧区分C	半角1文字		○	○
整理番号1	半角8文字		○	○
整理番号2	半角4文字		○	○
整理番号3	半角4文字		○	○
補助番号	半角2文字		○	○
百米標	999.9	k m	○	○
距離	9999	m	○	○
上り下り区分C	半角1文字		○	○
所在地	全角30文字		○	○
完成年月	199901	西暦	○	○
設置箇所C	半角1文字		○	○
送信種別C	半角1文字		○	○
ビーコン種類C	半角2文字		○	○
情報提供区間長	999	m	○	○
情報提供道路幅	99.9	m	○	○
情報区分C	半角2文字		○	○
A S 名	全角15文字		○	○
A S 設置場所	全角30文字		○	○
市区町村C	半角5文字		○	○

※データ部記入内容詳細については、別途「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル」参照

道路施設基本データ作成対象項目一覧表

1/1

E352：ビーコン（補修歴）

項目名	入力書式		CSV作成対象	
	データ表現	単位	全国版 SYOGEN	中国版 SYOGEN_0
工事番号	半角16文字			○
工事区分C	半角1文字			○
施設対応番号	半角16文字			○
地整C	半角2文字			○
事務所C	半角2文字			○
出張所C	半角2文字			○
路線	9999			○
現旧区分C	半角1文字			○
現旧区分	全角2文字			○
整理番号1	半角8文字			○
整理番号2	半角4文字			○
補修年月	199901	西暦		○
補修内容C	半角3文字			○

※データ部記入内容詳細については、別途「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル」参照